



かわのゆうじ
川野優治

悪臭問題にどう対応する

～最大限の努力をする～

質

衰退傾向にある本市において、人口が増加している三重原区ではあるが、悪臭問題に苦しめられており、今後の発展に危惧を感じている。

答 市長

現在、マイエンザやゼム酵素の散布を行っており、三重原地域の全体に強い臭気を感じていることは少なくなっていることで、一定の効果も出てきていると思われませんが、局部的に強烈な臭気を感じる時間も多々あり、抜本的な解決には至っていない状況にあります。

質

区民は、悪臭により耐え難い精神的苦痛を被っている。

答 市長

市は迷惑料などを支払う意思はないのか。

質

高齢化などにより、耕作放棄地が増えることが予想されるが、市の解消策は。また、企業参入による解消を考えているか。

耕作放棄地をどうする

※2 になて
～担い手の育成により解消する～

答 農業振興課長

耕作放棄地のうち再生可能な優良農地をできるだけ再生し、農業振興に資することが急務であり、市としては農業委員会と連携し、再生可能な遊休農地を担い手などへ斡旋するなどの有効利用調整活動を積極的に行います。

また、遊休農地を活用することにより、集落営農組織や認定農業者・新規就農者などの担い手への集積や規模拡大を促進し、担い手の経営体質の強化と地域農業の活性化を図ります。



市内の耕作放棄地

※1 マイエンザ=家庭から排水溝、河川までの水質を微生物の力で浄化する微生物資材（液体）。
※2 担い手=中心となって、物事を進める人。中核農業者。

農業後継者への支援は

～関係機関に要望～



うち だ とし かず
内 田 俊 和

質

本市の農業を守る農業後継者にも、新規就農者と同じく、支援が必要と思うが、支援の在り方、指導内容の相違点を伺う。

答

市長

農業後継者については、新たに夏秋ピーマン栽培で独立就農する場合、自宅から近い、インキュベ^{※2}ーションファームのカリキュラムにより栽培実践研修、土壌、病害虫、農業簿記などの研修を受けることが可能です。

また、親元に就農した45歳未満の農業後継者が5年以内で経営を継承する場合および親から別部門で独立就農する場合は、青年就農給付金として、年間150万円を最長で5年間給付を受けることができます。

しかし、農業後継者が経営を継承する要件が厳しいことから、関係機関に対して要件の緩和を要望しているところです。

市畜産センターの開所について

～特色ある和牛生産に取り組む～

質

過去に市農業振興センターの設置があったが、今回の市畜産センター設置の内容に対しては何ら前回との改善が見受けられないが。

答

農業振興課長

本年5月1日に市とJAの畜産部門が一体となり、畜産農家と飼養頭数の増および収益の向上を目指し、本市の畜産振興を強力に推進することを目的に設立されました。

今後、畜産農家の減少にどう対処するのか、消費者に好まれる畜産物をどう生産するのかなど、多くの課題に取り組むため、センターの職員が互いに連携し、目的達成のため、推進活動を行っていきます。

特に肉用牛の振興については、生産者の労働条件の支援をするため、肉用牛ヘルパー、コントラクター^{※3}などの事業を推進します。

また、効率的な家畜改良を推進するため、基礎牛の選定確保を行うと同時に、和牛の「おいしさ」に着目した肉牛の不飽和脂肪酸組成、いわゆるオレイン酸生成能力の改良を進め、特色ある和牛の生産に取り組めます。

※1 独立就農＝親の経営から分離し、または他の業種から農業に参入し、自ら経営主となり就農すること。
 ※2 インキュベーションファーム＝新規就農者技術習得研修施設。
 ※3 コントラクター＝飼料生産受託組織。
 ※4 オレイン酸（不飽和脂肪酸）＝牛肉の風味に最も影響を与えるとされる物質で、一般には、コレステロール値を下げる働きがあるとされるなど、健康につながる成分として知られている。